

市民の声と運動、共産党市議団が議会で取り上げ予算化へ

・・・新年度予算に提案された住民要求実現の事業を紹介します・・・

子ども医療費助成「高校3年まで」拡充 「薬剤費」の自己負担を廃止

2023年12月からの実施となります

「新日本婦人の会」のみなさんと粘り強く拡充を要望してきた「子ども医療費助成制度」が、2023年度予算に「高校3年生まで」の対象年齢引き上げが提案

されました。準備期間を設けて、12月からの実施となります。

加えて、「薬剤費」の自己負担がなくなります。(小学生以下700円、中学生1,200円)



2023年度予算で1億円増額、引き続き「完全無料化」へ

12月からの実施のため、2023年度・4ヶ月分1億円の予算増額です。(年間ベースで3億円)

残る自己負担「医科」と「歯科」の無料化には、6.5億円が必要です。引き続き、医科・歯科の自己負担をなくし、「完全無料化」をめざし取り組みましょう。

【新制度の内容】

* 自己負担額の内容は以下のとおりです。

- 3～4歳：「医科」のみ月700円
- 小学生：「医科」「歯科」それぞれに月700円
- 中学生以上：「医科」「歯科」それぞれに月1,200円

なすまどか議員の一般質問

日時：2月27日(月)

午前10時～11時(60分)

場所：市役所議会棟5階・本会議場

*どなたでも傍聴できます。

*インターネットでの同時中継は、
熊本市議会 HP で

【質問項目】

- ・物価高騰対策
- ・学校給食無償化
- ・地域医療構想と植木病院の病床削減
- ・高齢者の補聴器購入助成
- ・TSMCの進出と地下水への影響
- ・健軍自衛隊の指令部地下化の問題 他

【控室から】
子どもたちへのうれしいプレゼント

上野 みえこ

「新日本婦人の会」のみなさんと、粘り強く運動し続けてきた「子ども医療費助成制度の拡充」が実現し、2023年度予算で、「高校3年生まで」の対象年齢引き上げと、「薬剤費の自己負担」が廃止されました。まさに、市民の声と運動の成果であり、子どもたちへのうれしい・うれしいプレゼントです。

私たちは、「子育て支援・3つのゼロ」として、①子ども医療費助成制度の完全無料化と高校3年生までの拡充、②学校給食の無償化、③第2子以降の保育料無償化の実施を求めてきました。今回の「子ども医療費助成」の拡充はその1歩です。同時に、県下では、今や「子ども医療費助成」に自己負担を求めているのは宇城市と熊本市だけとなっており、引き続き、医科や歯科の自己負担をなくして、完全無料の制度へと拡充することは急務です。

これまで取り組んできた、学校のエアコン設置や少人数学級拡充、給付型奨学金制度実施、保育や児童育成クラブの負担軽減・充実など、更にすすめ、教育・子育て支援を充実させていきたいと思えます。深まる子ども貧困、複雑な社会情勢の中で、子どもたちの思いを受けとめ、その笑顔のために頑張ります。

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議

NO. 1312
2023年2月19日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：共産党 熊本市議団

検索



上野みえこ
(中央区)



なすまどか
(東区)

保護世帯の「エアコン設置助成」が実現

温暖化の影響もあり、毎年の夏の猛暑にエアコンは欠かせません。健康で文化的な生活の最低条件とも言うべきものです。

「生活と健康を守る会」とともに繰り返し要望してきた生活保護世帯等のエアコン設置への助成が実現し、新規事業として1,200万円予算化されました。

約120世帯への助成が想定されています。



【事業概要】

(対象)

- ①生活保護又は中国残留邦人等支援給付の受給世帯で、エアコン購入に係る生活保護費の支給要件を満たさない世帯
- ②世帯内に要援護者がいる
- ③エアコンを1台も所有していない（故障で使えない場合含）

以上3つの条件すべてを満たした場合が対象です。

(助成額) *1世帯当たりの上限額

エアコン本体：5万8,000円
 設置費用：4万3,000円
 合計 10万1,000円

政令市最低クラスの「学校図書費」拡充！

政令市で最低クラスの学校図書購入経費が増額されました。昨年比で1,640万円増額、2023年度・4,262万4,000円です。

また、今後は廃棄基準を作成し、基準に沿った廃棄を行いながら、図書刷新をすすめ、第6次「学校図書整備等5カ年計画」

が終了の2026年度末までに、すべての小中学校で「学校図書標準」の達成を目指します。

【2023年予算額】

小学校	2,821万4,000円 (+1,220万円)
中学校	1,441万円 (+420万円)
合計	4,262万4,000円 (+1,640万円)

「35人学級」が小学6年生へ拡充 210万円

「35人学級」が小学6年生に拡充されます。20クラス程度の増加見通しです。残るは、中学2年生・3年生、小中学校全学年の「35人学級」実現まで、あと1歩です。

高校の空調関係費が「市費負担」に

高校では、普通教室のエアコン設置・電気代・維持管理費をPTAが負担していました。これ

が、2023年度からは「市費」負担となり、保護者負担が軽減されます。予算額 210万円

バス停のベンチ設置が実現・・・毎年100カ所

「新日本婦人の会」から要望があり、議会の一般質問でも取り上げた「バス停のベンチ」設置が実現しました。2023年度の設置予算は1,000万円、寄付も含め100カ所のバス停に設置されます。

1カ所あたりの費用が約23万円で、2023年度の市費による設置は45カ所、その他は、広告事業者との連携、花博ベンチの再

利用、市民の寄付によるものとなります。2024年度以降は、市費による設置カ所が増やされる見通しです。

今後6年間、毎年100カ所のペースで整備をすすめ、600カ所に設置される予定です。



「学級支援員」が拡充に

2022年度 135人 ⇒ 2023年度 168人 (33人の増員)

*うち、看護師12人が、16人に増えます。

新規に「盛土対策経費」を予算化 8,910万円

熱海の土砂災害を機に制定された「盛土規制法」の運用に向け、「規制区域の指定」や「既存の危険な盛土の把握」のための基礎調査を行う。

2023～2024年度 基礎調査の実施と規制区域等の検討
2025年度～ 規制区域指定（本格運用開始）